

【2025年2月25日】
送付枚数 本票含め1枚

報道機関 各位

件名：「クネンボ植栽式及びクネンボ試食会」を開催します

山口大学山口学研究センターでは、令和6年度から「観光資源としての「山口の食」の開発とその社会実装」プロジェクト（代表 森朋也准教授）を実施しています。

このたび、現在は知る人のほとんどいない「幻のみかん」クネンボの植栽式及び試食会を、国指定重要文化財である熊谷家住宅にて行います。また、今後、萩市内各所で植栽を進める予定です。文献史料等に頻出するクネンボゆかりの地に復活させることで、クネンボを広く知っていただく契機になることを期待しています。

つきましては当日の取材および報道等について、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

- 日 時：令和7年3月8日（土） 13時30分～14時30分
場 所：熊谷家住宅（萩市今魚店町、国指定重要文化財）
内 容：クネンボの植栽式の後、クネンボ生果、クネンボの砂糖漬け菓子、クネンボ入り金山寺味噌などを試食します。また、熊谷家4代熊谷義比家^{よしかず}督祝いの内容を記した史料と、その時に飾られた屏風や掛軸・工芸品などの一部を熊谷家住宅内に設えます。
主 催：山口大学山口学研究センター
共 催：山口グリーン社会推進研究会教育開発推進部会
協 力：萩市、公益財団法人熊谷美術館、特定非営利活動法人「萩元気食の会」、山口かんきつ広場

クネンボは、江戸時代に西日本で広く栽培されていた柑橘類で、明治の初めは山口県が生産額全国一位でしたが、現在は知る人のほとんどいない「幻のみかん」です。萩藩の御用達をつとめた豪商・熊谷家では、文化15年(1818)2月の熊谷家4代熊谷義比^{よしかず}の家督祝いの会食や、熊谷家が萩城や萩藩士の屋敷に出向いて食事会を催した際にもクネンボが提供されており、熊谷家の屋敷地内にはクネンボが植栽されていたものと思われます。



◆本件に関する詳細は下記までお問い合わせください
山口大学教育学部 五島研究室
五島淑子 TEL 083-933-5410
E-mail goto@yamaguchi-u.ac.jp

発信者 国立大学法人山口大学
総務企画部総務課広報室
〒753-8511 山口市吉田1677-1
TEL 083-933-5007
FAX 083-933-5013
E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp